

平成19年7月31日

低線量モニタリングポスト1台の指示値の一時的な上昇について

平成19年7月30日午前2時26分、1・2号機中央操作室において、発電所敷地周辺に8台ある低線量モニタリングポスト*¹のうち、1台(No.6モニタリングポスト)の指示値の上昇を示す警報が発生しました。

このため、当該モニタリングポストの指示計を確認したところ、約40～70ナノグレイ/毎時*²(通常値)から上昇傾向(最大で約160ナノグレイ/毎時)を示していることがわかりました。なお、指示値はまもなく低下しました。

この間、当該モニタリングポストを除く7台の低線量モニタリングポストならびにすべての高線量モニタリングポストの指示値に有意な変動はなく、各排気筒モニタ*³の指示値にも異常がないことから、今回発生した指示値の上昇は、発電所の運転による影響ではないと判断しました。

その後の調査において、当該モニタリングポストの信号伝送回路に設置された、アナログ信号をデジタル信号に変換する装置内の基板に故障が認められたことから、指示値の上昇は当該基板の不良によるものと推定いたしました。

このため、当該基板を取り替えるとともに、本日午前7時30分、当該モニタリングポストの健全性を確認しました。

なお、当該基板の不良の原因は、偶発的に発生した故障によるものと推定しております。

本事象につきましては、警報発生から点検・復旧までの間、当該モニタリングポストが正しく測定されていなかったものと判断しております。

以 上

* 1 モニタリングポスト

発電所敷地周辺に設置され、空間線量率を測定する機器。

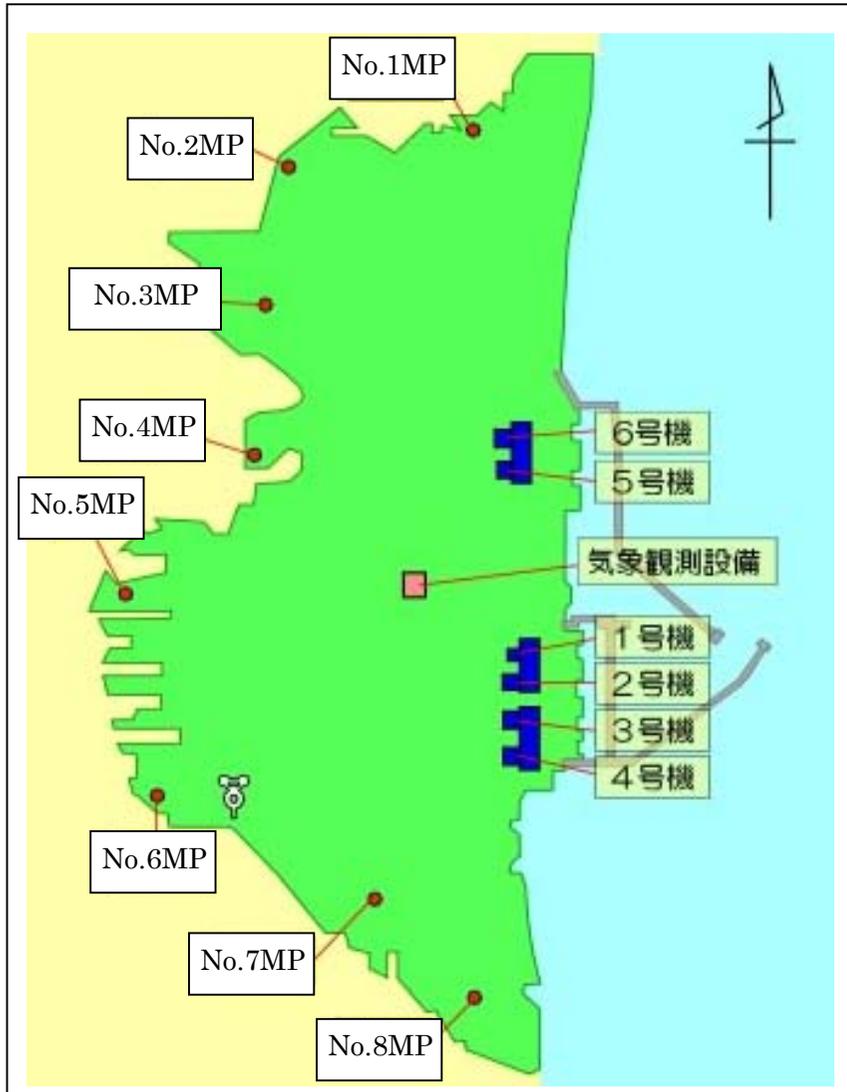
モニタリングポストは低線量用と高線量用の2種類あり、それぞれ8台ある。

* 2 ナノグレイ/毎時

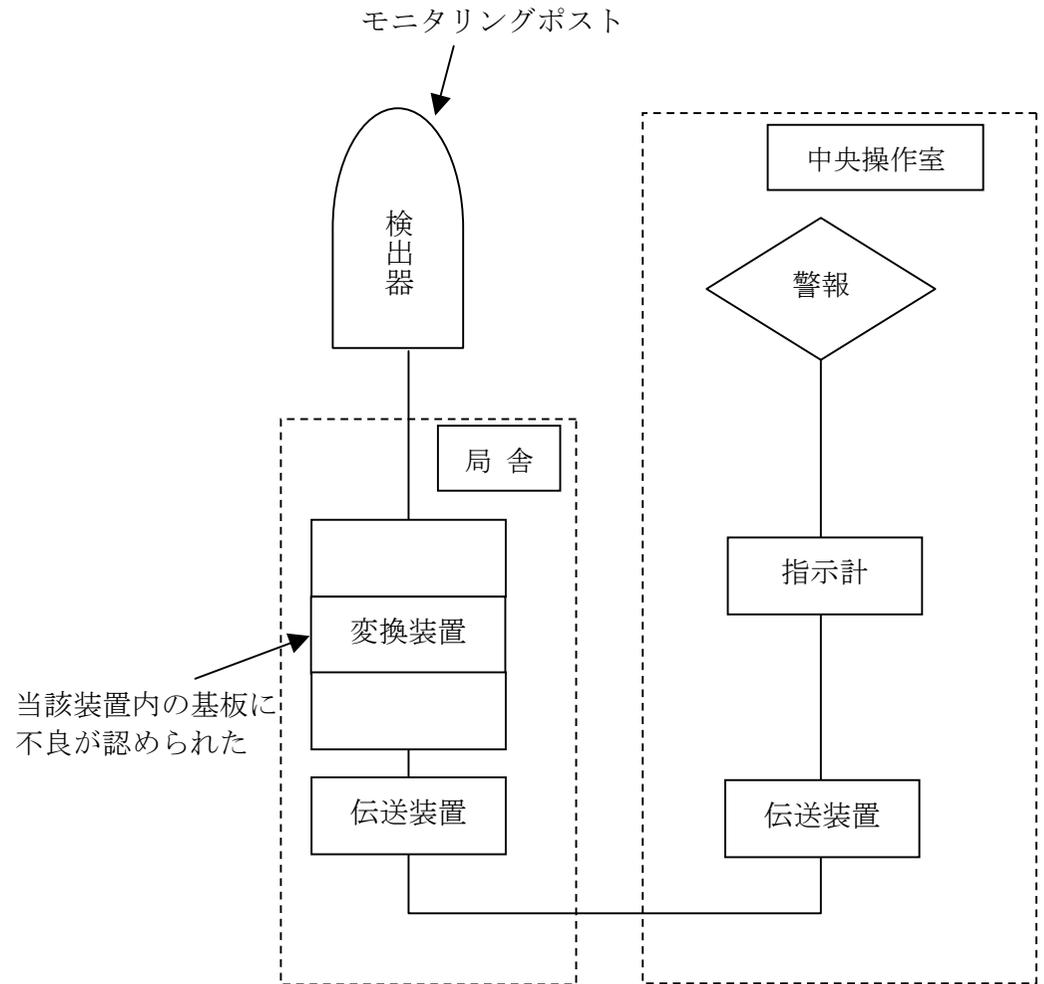
1時間あたりの空気中の放射線量をあらわす単位。ナノは10億分の1のこと。

* 3 排気筒モニタ

建物内の空気や復水器を真空にしておくための排ガスが環境へ放出される排気中の放射線を測定する装置。



モニタリングポスト配置図



モニタリングポスト信号伝送回路概略図